

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. 企業間の連携（物流 SaaS プラットフォームを活用した中小物流事業者間の情報共有・配車調整・受発注連携、取引先との共同サービス開発によるオープンイノベーション 等）
- b. IT 実装支援（クラウド SaaS を活用した業務デジタル化・DX 推進、受発注・請求・帳票（インボイス・電子帳簿保存法対応）の電子化、サイバーセキュリティ対策の助言・支援、IT 人材の育成支援 等）

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

直接の取引先だけでなく、直接の取引先の更に先まで価格転嫁が可能となるような価格決定を行い、その旨をサプライチェーンの隅々まで伝わるよう情報発信します。

当社が関わるサプライチェーン全体の共存共栄のため、直接の取引先をはじめ、サプライチェーン全体へのパートナーシップ構築宣言の普及を図ります。

物流 2024 年問題（時間外労働上限規制）への対応支援として、取引先の物流事業者が適法かつ持続可能な形で事業を継続できるよう、労務管理デジタル化の支援を積極的に行います。

約束手形の利用の廃止に向けて、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権への移行に取り組みます。

2026年5月28日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

LF&L 株式会社
企業名

代表取締役 小林 悠真
役職・氏名（代表権を有する者）

(備考)

・本宣言は、(公財) 全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。

- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。